

第2次生駒市教育大綱 アクションプラン ＜令和5年度案＞

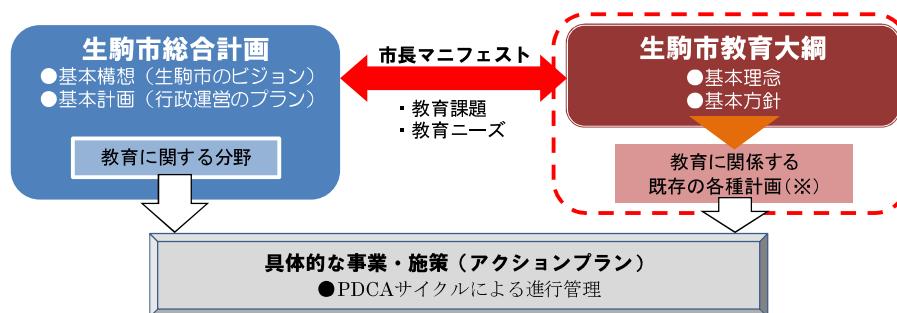


生駒市教育委員会

第 2 次生駒市教育大綱アクションプランとは

生駒市では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 3 の規定に基づき、令和 2 年 6 月に一部を改訂した市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱である「第 2 次生駒市教育大綱」を定め、本大綱に基づく事業・施策を進めています。

第 2 次生駒市教育大綱で定めた”基本理念”と”基本方針”に基づく施策・事業や、第 6 次生駒市総合計画第 1 期基本計画及び既存の計画における教育分野に関する事業等を整理し、この 4 年間で特に重点的に取り組むべき事業を定めたものを『アクションプラン』とし、個々の「事業」を設定するとともに、各年度の具体的な「取組内容」を掲げ、得られる効果として「達成目標」を定めています。



第 2 次生駒市教育大綱アクションプランの期間

第 2 次生駒市教育大綱については、期間を策定の日から 4 年間としています。アクションプランについては、第 6 次生駒市総合計画第 1 期基本計画や市長マニフェスト、教育課題、社会ニーズ等を踏まえた事業を記載するとともに、毎年度、事業ごとに目標や取組内容の達成状況・効果等の点検評価し、社会情勢等を踏まえ、柔軟に取組内容や設定目標等の見直しを図っていくこととします。

第 2 次生駒市教育大綱アクションプランの進行管理

第 2 次生駒市教育大綱については、4 年に 1 回の改訂としていますが、毎年度策定するアクションプランについては、実行と改善を絶えず繰り返し、実効性を担保したシステムとします。

外部評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、学識経験者の点検・評価を行うこととなっており、これを活用して行うものとします。

第2次生駒市教育大綱体系図・目次

基本理念 「遊ぼう」「学ぼう」「生きよう」 みんなでいこまを楽しもう 頁

基本方針1 子育てを楽しめる地域づくり

1 保護者支援の場・コミュニティづくり	1
・子ども家庭総合支援拠点の充実 ・第3期生駒市子ども・子育て支援事業計画策定事業【新規】 ・地域で支え合う子育ての推進 ・男性の育児を促す取組の推進 ・待機児童解消に向けた取組の推進【変更】 ・地域子育て支援拠点事業 ・学童保育の充実 ・家庭・学校・地域が連携した家庭教育の支援	
2 「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実	6
・幼児期の教育と小学校教育の育ちをつなぐ保幼小接続事業 ・幼稚園コミュニティ・スクール【新規】 ・保護者・地域と連携した特色ある幼稚園運営の取組 ・公立幼稚園のあり方に関する検討事業【変更】 ・営幼稚園幼保連携型認定こども園化事業【新規】	

基本方針2 21世紀を生き抜くしなやかでたくましい人づくり

1 「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進	9
・コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の推進【変更】 ・放課後こども教室の運営 ・いこま教育フォーラムの実施【新規】	
2 ICT機器を活用した新たな学びの創出と時代に応じた環境整備	11
・ICTを活用した教育の推進 ・ICT活用教育リーダー育成研修の実施 Google認定教育者資格取得支援事業【新規】 ・プログラミング教育の推進 ・ICT活用教育支援事業 ・小・中学校のあり方検討事業 ・小中学校施設の計画的な大規模改修事業【新規】 ・生駒南小学校・中学校老朽化対策事業【新規】 ・学校給食センター整備事業	
3 多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成	15
・自殺対策推進事業 ・ICT機器を安全に活用するための情報モラル教育の推進 ・いじめ防止等の施策推進【変更】 ・特別支援教育の充実 ・不登校支援推進の運営【変更】 ・自校式通級指導教室推進事業(仮称)【新規】 ・スクールカウンセラー配置の拡充【変更】 ・スクールソーシャルワーカー配置の拡充【変更】	
4 主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成	19
・読書活動・学校図書館の充実 ・生駒こどもチャレンジ補助事業 ・社会に開かれた学校教育推進事業【変更】 ・部活動支援事業【変更】 ・チャレンジ！やさしくたくましいいこまっ子キャンプ	
5 「楽しい授業づくり」のための教職員の育成と環境整備	22
・教職員がいきいきと子どもと向き合う時間創造プログラムの推進【変更】 ・グローバル時代に対応した外国語教育の推進 ・問題発見力や他者と協働するコミュニケーション能力の育成 ・市内教員(ミドルリーダー)向け先進校視察支援事業【新規】 ・講師不足対策【新規】	

基本方針3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

1 すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出	25
・幅広い世代への学ぶ機会の提供と地域の人材活用 ・困難を抱える子ども・若者に対する支援の充実 ・学びと活躍推進事業【新規】 ・多様性を認め合う場の提供 ・高齢者の学びへの意欲向上と、学びを「行動」につなげる仕組みづくり ・家庭・学校・地域が連携した家庭教育の支援【再掲】	
2 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり	28
・子ども読書活動の充実【変更】 ・「人を通して知る」「本を通して人を知る」とキャッチフレーズとするビブリオバトル全国大会の開催 ・市民との連携や「協創」のもと、まちづくりの拠点となる図書館づくり ・図書館読書バリアフリー事業 ・図書館本館リニューアル事業【新規】	
3 歴史・伝統文化・芸術を通じた、より豊かなまちの実現	31
・『生駒市史』編さん事業 ・市史編さん収集資料活用事業「いこま歴史アーカイブ」【新規】 ・歴史・伝統文化の学びの場の提供と情報発信 ・市民との「協創」による「音楽のまち生駒」の発信 ・生涯学習施設整備事業	
4 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展	34
・第2期スポーツ推進計画策定事業【新規】 ・総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業 ・みんなのスポーツ推進事業 ・トップアスリート連携事業 ・体育施設整備事業 ・新たな地域クラブ推進事業【新規】	

<子育て・就学前教育>

基本方針 1 子育てを楽しめる地域づくり

1 保護者支援の場・コミュニティづくり

〔現状と課題〕

子育て世代の保護者が孤立せず、子どもたちが安心して成長できるよう、子育てに関する悩みを共有・相談できる場の設定や子育てを地域で支え合うためのコミュニティを構築していく必要があるとともに、待機児童の解消に向けた取組や学童保育の充実など、国の幼児教育・保育の無償化や共働き世帯の増加、保護者ニーズの多様化を踏まえた保育サービス、学童保育の充実を図っていくことが必要となっています。

〔具体的な事業・取組内容と目標〕

事業名	子ども家庭総合支援拠点の充実			
事業の概要	子育て家庭と妊産婦等を支援するため、関係機関と連携し支援することにより、虐待の未然防止・早期発見に努める。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・拠点に必要な専門職の配置及び相談体制の充実 ・生駒市要保護児童対策地域協議会の運営			
目標値	—	—	—	—
担当課	子育て支援総合センター・こどもサポートセンター			

事業名	第3期生駒市子ども・子育て支援事業計画策定事業【新規】			
事業の概要	現行の第2期生駒市子ども・子育て支援事業計画が令和6年度に最終年度を迎えるため、令和7年度から11年度を計画期間とする第3期生駒市子ども・子育て支援事業計画を策定する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容				令和5年度
				・計画策定委託ニーズ調査 ・子ども子育て会議
目標値				—
担当課	子育て支援総合センター			

事業名	地域で支え合う子育ての推進			
事業の概要	ファミリー・サポート事業の周知を図り、子育てを地域で支えあうためのコミュニティを構築する 子育てシェアを広げるための地域交流会の開催、及び地元ママサポーターや会員による子育てシェアの拡大をサポートする			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・ファミリー・サポート事業の周知 ・子育てシェアの交流会の開催、及び事業周知のサポート			
目標値	—	—	—	—
担当課	子育て支援総合センター			

事業名	男性の育児を促す取組の推進			
事業の概要	父親が育児を自らのことと捉えられるよう、父親の子育てを後押しする事業を実施する。			
目標名/現状値	父親向け・夫婦向け講座の回数		4 回(令和 2 年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・パパセミナー/3 期 ・夫婦で聞く前向き子育てセミナー/1 回	 ・Papa's みっきランドの開催		
目標値	—	—	5 回	5 回
担当課	子育て支援総合センター			

事業名	待機児童解消に向けた取組の推進【変更】			
事業の概要	令和 6 年度までの待機児童解消に向け、小規模保育所又は認可保育所等(分園)の新設、保育人材確保、保育コンシェルジュ相談事業を実施する。			
目標名/現状値	待機児童数(各年度 4 月 1 日現在)		65 人(令和2年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・小規模保育所の開設に向けた公募 ・保育士確保事業の実施	・小規模保育所の公募等、地域型保育事業の推進 ・保育士確保事業の実施	・小規模保育所、認可保育所等(分園)等の公募による保育事業の推進 ・保育士確保事業の実施	 ・保育士確保事業として、短時間勤務保育士を対象とした処遇改善補助金を創設するとともに、新規に雇用した常勤保育士、保育教諭には1年経過ごとに、手当を支給する。(3年間)
目標値	122 人	108 人	63 人	5人
担当課	幼保こども園課			

事業名	地域子育て支援拠点事業			
事業の概要	乳幼児及びその保護者の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。			
目標名/現状値	利用人数		34,684 人(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・年間を通して、市内 10 か所で事業実施			
目標値	46,568 人	47,067 人	47,571 人	48,081 人
担当課	幼保こども園課・子育て支援総合センター			

事業名	学童保育の充実			
事業の概要	増加する学童保育需要に対応するため、生駒市学童保育運営協議会が運営する学童保育所の環境整備、指導員確保などによる体制づくりに取組むとともに、新たなニーズに応えるため、民間事業者による学童保育事業を促進する。			
目標名/現状値	民間学童保育所数		6 か所	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・運営協議会に対する支援 ・民間事業者を対象としたセミナーの実施	・運営協議会に対する支援 ・民間事業者に対する支援 ・民間事業者参入を図るための公募	・運営協議会に対する支援 ・民間事業者に対する支援	
目標値	6 か所	6 か所	7 か所	8 か所
担当課	こども総務課			

事業名	家庭・学校・地域が連携した家庭教育の支援			
事業の概要	子育ての不安解消や地域でのつながりづくりなどを目的に、地域で子育て支援等に関わる市民との協働により立ち上げた生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」を中心に、学校園などとの連携のもと親子や保護者を対象とした交流事業や家庭教育に関する情報発信などに取り組む。			
目標名/現状値	－		－	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・家庭教育支援チーム「たけのこ」による取組の実施 ・取組の情報発信 ・チームメンバーの研修	 ・学校園への訪問	 ・個別相談の試行	
目標値	－	－	－	－
担当課	生涯学習課			

2 「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実

〔現状と課題〕

本市では、3歳児保育希望者の全員受入れや預かり保育、幼小中連携事業など特色ある幼稚園運営に取り組んでいますが、共働き世帯の増加や保護者ニーズの多様化により幼稚園の園児数は減少傾向にあります。より一層就学前教育の充実を図るため、引き続き保幼小接続カリキュラムをはじめとする特色ある幼稚園運営を実施していくとともに、今後の幼稚園の役割について検討を行っていく必要があります。また、「生駒市立幼稚園の再編にかかる方向性について」(令和3年11月)に基づき、なばた幼稚園と俵口幼稚園で地域園協働本部「えん・くろす」を開始し、園を活用した地域活性化を進めて地域と一体となった特色ある園づくりに取り組んでいます。この取組を組織化し、継続的に進める必要があります。

〔具体的な事業・取組内容と目標〕

事業名	幼児期の教育と小学校教育の育ちをつなぐ保幼小接続事業			
事業の概要	保育所と幼稚園の学びを連続性・一貫性のある教育として小学校へつなぐ。			
目標名/現状値	保幼小推進接続会議の開催回数		3回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・2学期からの推進会議実施 ・職員間交流の計画と実施	・推進会議実施 ・園児及び職員間交流の計画と実施	・推進会議実施 ・園児・職員間交流の計画と実施 及び架け橋プログラムの共通理解	・推進会議及び研修会を実施 ・各小学校区における接続活動の計画・実施
目標値	2回	3回	3回	3回
担当課	幼保こども園課・教育指導課			

事業名	幼稚園コミュニティ・スクール【新規】			
事業の概要	「生駒市立幼稚園の再編にかかる方向性について」(令和3年11月)に基づき、園と保護者、地域コミュニティが連携し、子どものために取り組んでいる地域園協働本部「えん・くろす」をコミュニティ・スクールとして組織化し、継続的に取組を進める。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容			令和4年度	令和5年度
			・保護者、地域への説明	・なばた幼稚園、俵口幼稚園で実施
目標値			—	—
担当課	幼保こども園課			

事業名	保護者・地域と連携した特色ある幼稚園運営の取組			
事業の概要	「遊び」を「学び」につなぐ幼児教育を可視化し、保護者・地域の市民力を保育に取り入れ、特色ある幼稚園運営を行う。			
目標名/現状値	保護者・地域との協働回数		6回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・保育を可視化し、分析する職員研修の実施 ・教育目標を発信し、保護者・地域の保育参加を実施	・保育を可視化するためプリント作成、配布 ・コロナ禍で可能な保育参加活動を実施 ・園評価をホームページに掲載	・コロナ禍における保護者、地域との協働にかかる取組の実施 ・教育目標を発信する手段を工夫し、発信回数を増加	・アフターコロナにおける保護者、地域との協働にかかる取組の実施 ・園から保護者、地域への教育活動の発信を工夫する。
目標値	6回	6回	6回	8回
担当課	幼保こども園課・各幼稚園			

事業名	公立幼稚園のあり方に関する検討事業【変更】			
事業の概要	令和2年2月に答申を受けた「今後の生駒市立幼稚園のあり方について」を踏まえ、幼稚園のこども園化の実現性や園規模の適正化に向けた検討を進めていく。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・答申を踏まえた公立幼稚園のあり方に関する検討	・地域協議会の開催 ・協議会からの意見書を踏まえた方向性の検討	・壱分幼稚園こども園化への検討 ・その他、方向性に基づく各種取組の検討、実施	
目標値	—	—	—	—
担当課	幼保こども園課			

事業名	壱分幼稚園幼保連携型認定こども園化事業【新規】			
事業の概要	「生駒市立幼稚園の再編にかかる方向性について」(令和3年11月)に基づき、民間による運営も視野に入れ、こども園化を進める。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容			令和4年度	令和5年度
			・こども園化の検討	・保護者、地域住民説明 ・解体工事設計業務
目標値			—	—
担当課	幼保こども園課			

< 学校教育 >

基本方針 2 21 世紀を生き抜くしなやかでたくましい人づくり

1 「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進

〔現状と課題〕

これまでも学校は地域活動の拠点として、地域ぐるみなどの活動によって、保護者や地域住民に支えられて運営されてきましたが、学校運営に関してさらに保護者や地域に関わってもらう仕組みを推進し、学校と地域が一体となって、子どもたちの学びを支えていくことが求められています。

〔具体的な事業・取組内容と目標〕

事業名	コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の推進【変更】			
事業の概要	学校と地域住民等が力を合わせて子どもたちの成長を育むため、地域住民等が学校運営に取り組むことが可能となる学校運営協議会を各小・中学校に設置し、地域とともにある、地域に開かれた学校を推進する。地域の現実に即した当事者能力を子どもたちに育むため、学校運営協議会によるカリキュラムの提案も歓迎する。			
目標名/現状値	学校運営協議会設置校数 学校運営協議会の開催回数		0校(令和元年度) 0回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・学校運営協議会 をモデル校に設 置、開催	・学校運営協議会 を全小中学校に 設置、開催	・学校運営協議会 の開催	
目標値	3校・6回	全校・38回	全校・57回	全校・57回
担当課	教育指導課・教育総務課			

事業名	放課後子ども教室の運営			
事業の概要	地域学校協働活動として放課後や長期休業中等において、子どもたちが安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができる居場所をつくる。			
目標名/現状値	放課後子ども教室設置数		5校(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・放課後子ども教 室の設置・開催			
目標値	5校	5校	7校	9校
担当課	教育指導課			

事業名	いこま教育フォーラムの実施【新規】			
事業の概要	令和4年度に実施した「いこま教育フォーラム」を年2回の継続開催事業とする。開催にあたっては、教育行政課題からテーマを選定しながら教育委員会の方針や活動、学校の様子を伝える機会にするとともに、保護者や市民をはじめとした多くの人の声を吸い上げる場とする。			
目標名/現状値	－		－	
各年度の 取組内容			令和4年度	令和5年度
			・いこま教育フォーラムの実施（年3回）	・いこま教育フォーラムの実施（年2回）
目標値			－	－
担当課	教育指導課教育政策室			

2 ICT機器を活用した新たな学びの創出と時代に応じた環境整備

[現状と課題]

主体的・対話的で深い学びを充実するための一つの手段として、1人1台のPC端末やLAN環境の整備などの環境整備を行いました。この環境を有効に活用するため、積極的にICT機器を活用し、子どもたちの協働活動や習熟度別学習などの新たな学びのスタイルを創り上げていくことが求められています。そのために新しい発見や豊かな発想が生まれるような授業の研究と実践(改善)を推進する必要があります。

また、老朽化が進む学校施設について、厳しい財政状況や将来的な児童生徒数も踏まえて計画的に改修を進めていく必要があります。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	ICTを活用した教育の推進			
事業の概要	全小中学校に児童生徒1人1台整備された情報端末を生かした学習指導計画を立案し、日常的学習活動に位置づけることで、学習内容理解の充実を図るとともに、ICTを活用した新しい学習形態を実現する。 また、ICTを活用した個別最適な学びを実現させるため、AI学習ドリルの導入を検討する。			
目標名/現状値	活用報告事例数		0件(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・校内LANの整備 ・1人1台PC端末を配備	・情報端末を活用した授業の展開 ・南小南中におけるAI学習ドリルの試験導入		
目標値	96件	192件	288件	384件
担当課	教育指導課			

事業名	ICT活用教育リーダー育成研修の実施			
事業の概要	校務処理や教材開発などに係る高度なICTスキルを身に付けた教員を育成することで、学校におけるICT利用の日常化を図るとともに、指導場面における効果的なICT利用の形態を提案し、実証することのできる教員の育成を図る。			
目標名/現状値	研修の実施回数		0回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・ICT活用教育リーダー育成研修の実施		・リーダー研修後、各校での取組の発表	
目標値	3回	5回	7回	10回
担当課	教育指導課			

事業名	Google 認定教育者資格取得支援事業【新規】			
事業の概要	ICT を活用した授業を実践する教員の基礎スキル向上を支援するために、Google 認定教育者資格取得を支援する。客観的評価にもなる公的な資格取得が増えることにより、市内教員の ICT スキルのボトルアップにつなげ、認定教育者グループに参加する教員が増えることにより、授業改善につなげる。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容				令和5年度 ・夏期休暇中に試験 対策講座を実施
目標値				20 名参加
担当課	教育指導課教育政策室			

事業名	プログラミング教育の推進			
事業の概要	小学校の学習活動の中でプログラミング的思考の育成を各教科等の授業で進めていくため、「プログラミング教育推進計画」を策定し、プログラミング教育を実施する。			
目標名/現状値	1 校当たりの平均授業時間数		0 時間(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度 ・プログラミング教育推進計画の作成 ・授業実施 1～4 年:2 時間 5・6 年:6 時間	令和3年度  ・授業実施 1～4 年:4 時間 5・6 年:8 時間	令和4年度  ・授業実施 1～4 年:6 時間 5・6 年:12 時間 ・授業実践の交流	令和5年度  ・授業実施 1～4 年:6 時間 5・6 年:12 時間 ・授業実践の交流
目標値	20 時間	32 時間	48 時間	48時間
担当課	教育指導課			

事業名	ICT 活用教育支援事業			
事業の概要	全小中学校に児童生徒1人1台整備した PC 端末を、授業等で円滑に活用するため、ICT 支援員を配置する。また、県域 ICT 支援センターを活用することで、これまで以上に教育データの利活用を進める。			
目標名/現状値	ICT 支援員配置回数		週0回(令和2年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・校内 LAN の整備 ・1人1台 PC 端末を配備	・10月から小中学校 19 校に支援員を週1回配置	・R3 に続き、小中学校 19 校に支援員を週1回配置 ・各校のニーズ等を踏まえ、ICT 支援員の配置についての検証 ・県域ICT支援センターの活用	 ・県域ICT支援センターの活用
目標値	週 0 回	週 1 回	週 1 回	週 1 回
担当課	教育指導課・教育総務課			

事業名	小・中学校のあり方検討事業			
事業の概要	令和2年2月に答申を受けた「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」を踏まえ、学校規模の適正化に向けた検討を進めていく。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・答申を踏まえた小・中学校のあり方に関する検討	・地域協議会の開催 ・協議会からの意見書を踏まえた方向性の検討	・方向性に基づく各種取組の検討、実施	
目標値	—	—	—	—
担当課	教育総務課・教育指導課・教育政策室			

事業名	小中学校施設の計画的な大規模改修事業【新規】			
事業の概要	建設から40年程度経過し、老朽化が進んでいる小中学校の大規模改修を順次計画的に実施する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容			令和4年度 ・大規模改修に向けた耐力度調査・基本設計(上中)	令和5年度 ・大規模改修に向けた耐力度調査・基本設計(上中)(繰越)
目標値			—	—
担当課	教育総務課			

事業名	生駒南小学校・中学校老朽化対策事業【新規】			
事業の概要	老朽化が進んでいる生駒南小学校及び生駒南中学校の全面改築も含めた整備を実施する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容			令和4年度 ・境界確定のための事前調査	令和5年度 ・境界確定・開発に係る申請・基本構想の策定
目標値			—	—
担当課	教育総務課・教育政策室			

事業名	学校給食センター整備事業			
事業の概要	中学校給食センターの老朽化に伴う施設の改修と更新を実施する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度 ・基本設計・実施設計	令和3年度 ・工事(2カ年) ・施工管理(2カ年) ・厨房設備購入(2カ年)	令和4年度 	令和5年度 ・工事(床等) ・施工管理(床等)
目標値	—	—	—	—
担当課	学校給食センター			

3 多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成

[現状と課題]

平成29年3月に策定した「いじめ基本方針」に基づく具体的な取組を引き続き進めていくとともに、スマートフォンやSNSの使い方など、インターネットリテラシーなどの情報教育の育成にも取り組んでいく必要があります。

また、特別な支援を要する子どもたちが、近年増加傾向にあり、よりきめ細かな特別な支援が必要となることから、さらなる体制の充実が必要となっています。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	自殺対策推進事業			
事業の概要	平成31年3月に策定した「生駒市自殺対策計画」に基づき、「SOS の出し方に関する教育」の研修を実施する。そして児童生徒の心身の状況の把握や児童生徒への相談窓口の周知徹底を行い、スクールカウンセラー等の活用を実施する。			
目標名/現状値	研修回数		0回(令和元年度)	
各年度の 取組内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		・養護教諭対象の研修会の開催 ・各校にて職員研修の開催	・初任者研修での実施 ・各校にて児童生徒に対して開催	
目標値		20回	21回	21回
担当課	教育指導課			

事業名	ICT 機器を安全に活用するための情報モラル教育の推進			
事業の概要	情報社会における安全やルールを児童生徒が主体的に考え、正しく理解し行動するための情報モラルを育成する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・スマホサミット2020を開催し、情報端末の適正な利用に関するワークショップの開催 ・ワークショップ結果報告を学校で活用	・児童生徒が主体的に考え、正しく行動するためのルール作りの実施 ・スマホサミット2021を開催し、各校の取組の交流		 
目標値	—	—	—	—
担当課	教育指導課			

事業名	いじめ防止等の施策推進【変更】			
事業の概要	平成29年3月に策定した「生駒市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止、早期発見につながる取組を推進する。			
目標名/現状値	いじめ問題対策連絡協議会開催回数		2回(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・生駒市いじめ問題対策連絡協議会の開催		・「生駒市いじめ防止基本方針」の改訂 ・生駒市いじめ問題対策連絡協議会の開催	
目標値	2回	2回	2回	2回
担当課	教育指導課			

事業名	特別支援教育の充実			
事業の概要	特別支援学級在籍児童生徒の学習支援、機能回復のための環境及び体制の充実を図る。			
目標名/現状値	特別支援教育相談日数		33日(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・特別支援教育相談の実施			
目標値	33日	33日	33日	33日
担当課	教育指導課			

事業名	不登校支援推進(のびのびほっとルーム、いきいきほっとルーム、oVice)の運営【変更】			
事業の概要	学校に登校しにくい児童に対して居場所となる適応指導教室を生駒南第二小学校の校舎の一部に開設した。 令和5年度から適応指導教室指導員について、のびのび、いきいきにそれぞれ常勤指導員1名を増員する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		・oViceの運営	・生駒南第二小学校内に、教育相談室、適応指導教室の開設 ・oViceの運営	・常勤指導員2名増員 ・oViceの運営
目標値		—	—	—
担当課	教育指導課			

事業名	自校式通級指導教室推進事業(仮称)【新規】			
事業の概要	令和5年度から現在配置している県費通級指導教師6人に加え、市費で4人配置することにより、各校平均週2回巡回を行う。そして通級指導教室の運営について指導助言及び運営補助を行い、自校式の通級指導教室を推進する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容				令和5年度 ・特別支援学級の 補充教員 1人5校担当×4 人＝週20校配置
目標値				—
担当課	教育指導課			

事業名	スクールカウンセラー配置の拡充【変更】			
事業の概要	令和5年度から、中学校で月3.5回を月4回に、小学校で月1.5回を月2回に増やし、相談を希望する保護者の期待に応える。緊急の対応やSCへのアドバイザー的役割を果たすスーパーバイザー的役割をつくる。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容		令和3年度 ・スクールカウンセラーの配置 中学校(月3.5) 小学校(月1.5) 教育支援施設(毎週2人)	令和4年度 ・スクールカウンセラーの配置 中学校(月3.5) 小学校(月1.5) 教育支援施設(毎週2人)	令和5年度 ・スクールカウンセラーの配置 中学校(月4) 小学校(月2) 教育支援施設(毎週2人) スーパーバイザー(年30回)
目標値		—	—	—
担当課	教育指導課			

事業名	スクールソーシャルワーカー配置の拡充【変更】			
事業の概要	令和5年度から、小学校に月1回スクールソーシャルワーカーを配置し、スクールソーシャルワーカーの役割について理解を深め、ヤングケアラー等の早期発見と早期対応を行う。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・教育支援施設（年50回） ・学校へ訪問し、現地で相談を受ける日を設けている。	・教育支援施設（年50回） ・学校へ訪問し、現地で相談を受ける日を設けている。	・教育支援施設（年50回） ・学校へ訪問し、現地で相談を受ける日を設けている。	・教育支援施設（年50回） ・学校への訪問回数の増加。
目標値	—	—	—	—
担当課	教育指導課			

4 主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成

[現状と課題]

「生きる力」としての「主体的に行動する力」「課題を見つけ、解決する力」「グローバル時代に対応する語学力」「他者と協働するためのコミュニケーション能力」を育成し、これからの社会の中においても、生き抜く力を身につけることができる学びの環境を充実していくことが求められています。

また、自分の夢を持ち、自己有用感を高めることができる心の教育と健やかな体を育成する取組に引き続き取り組んでいくことが必要です。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	読書活動・学校図書館の充実			
事業の概要	現在、小中学校すべてに学校司書を配置しており、一定の効果が得られている中、引き続き読書を通じて豊かな人間性を育むため、学校司書を配置することに加え、市内中学生ビブリオバトルを実施する。			
目標名/現状値	学校司書配置日数 市内中学生ビブリオバトル開催数	週 3 日(令和元年度) 1 回(令和元年度)		
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・学校司書を全小中学校に配置 ・ビブリオバトル市内中学生大会の実施			
目標値	週 3 日・1 回	週 3 日・1 回	週 3 日・1 回	週 3 日・1 回
担当課	教育指導課			

事業名	生駒こどもチャレンジ補助事業			
事業の概要	学校の各種コンテスト等に挑戦するために必要となる経費等を補助する制度を創設し、児童生徒の創造性を培い、達成感を味わうとともに、自己肯定感を高める。			
目標名/現状値	実施学校数	2 校(令和元年度)		
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・生駒こどもチャレンジ補助事業の継続実施			
目標値	2 校	2 校	2 校	2 校
担当課	教育指導課			

事業名	社会に開かれた学校教育推進事業【変更】			
事業の概要	あこがれいこまびと講演事業、学校教育創造推進事業、キャリア教育プランナーとの連携事業による、地域出身の文化人、スポーツ関係者、事業者等、社会で活躍されている方との講演等を通して、児童生徒が郷土愛を持ち、自分の夢に向かって生き生きと活動し、自己有用感を持って将来社会で活躍できる人材を育成する。 また、キャリア教育プランナーを中心とした、協働的な学びをはじめとした生き抜く力を育む取組について、持続可能な仕組みを構築する。 キャリア教育、ICT教育、SDGs教育、STEAM教育を効果的に進める教科横断的なカリキュラムの構築を進める。			
目標名/現状値	キャリア教育プランナーとの連携事業実施回数		0回(令和元年度)	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・あこがれいこまびと講演事業、学校教育創造推進事業、キャリア教育プランナーとの連携事業の実施 ・学校のニーズに寄りそったキャリア教育をハンズオン支援	 ・学校のニーズに寄りそったキャリア教育をハンズオン支援 ・SDGsを柱とした協働的な学び	 ・学校のニーズに寄りそったキャリア教育をハンズオン支援 ・SDGsを柱とした協働的な学び ・教員の横のつながり支援プロジェクト	 ・学校のニーズに寄りそったキャリア教育をハンズオン支援 ・SDGsを柱とした協働的な学び ・教員の横のつながり支援プロジェクト ・キャリア教育、ICT教育、SDGs教育、STEAM教育を効果的に進める教科横断的なカリキュラムの検討
目標値	11回	15回	17回	19回
担当課	教育指導課・教育政策室			

事業名	部活動支援事業【変更】			
事業の概要	中学校において、専門的な技術指導力を備えた指導者が不在の部に対し、地域の適切な人材を外部指導者として派遣し、部顧問と協力して指導・助言を行わせることにより、部活動を充実させる。			
目標名/現状値	部活動指導員配置時間数		1079 時間(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・中学校に外部指導者を配置			
目標値	1440 時間	1440 時間	1440 時間	2880時間
担当課	教育指導課			

事業名	チャレンジ！やさしくたくましいいこまっ子キャンプ			
事業の概要	既存の自然体験学習のメニューとして防災キャンプを加え、児童の防災意識を高め、命を守ることの大切さを再認識し、災害発生時に自分の命を守る行動を身につける。			
目標名/現状値	実施学校数		12 校	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・各小中学校の判断に基づくいこまっ子キャンプの実施			
目標値	12 校	12 校	12 校	12 校
担当課	教育指導課			

5 「楽しい授業づくり」のための教職員の育成と環境整備

[現状と課題]

教職員の働き方改革に積極的取り組み、「教職員がいきいきと子どもと向き合う時間創造プログラム」を着実に実施していますが、子どもたちの 21 世紀を生き抜く力を育成するためには、授業が「分かる」「楽しい」と思い、学びの喜びを感じる必要があります。そのため、教職員が子どもたちとしっかりと向き合い、能力の向上に努めることができる環境づくりが必要です。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	教職員がいきいきと子どもと向き合う時間創造プログラムの推進【変更】			
事業の概要	教職員が健康でいきいきとやりがいをもって働ける環境整備を行い、教職員が授業や教材研究等に集中し、ゆとりをもって子どもたちと向き合う時間の拡充を図る。 学校の業務改善及び教師の働き方改革を推進していくために、その担い手の核となる教頭の業務を再定義し、組織開発の手法によって働き方改革を持続的に推進する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・スクールサポートスタッフのモデル配置(2校) ・校務支援システムの本格運用 ・給食費徴収システムの導入検討	・スクールサポートスタッフの全校配置 ・校務支援システムの運用	 ・給食費管理システム業務導入に向けたプロポーザル実施 ・教職員の業務改善についての各種調査及び整理	 ・給食費管理システム導入(繰越) ・教職員の業務改善についての各種調査及び整理 ・働き方改革の施策実施 ・部活動の段階的な地域移行
目標値	—	—	—	—
担当課	教育総務課・教育指導課・教育政策室			

事業名	グローバル時代に対応した外国語教育の推進			
事業の概要	小学校1年生から英語の楽しさを感じられる取組を行い、小中学校 9 年間を通じた系統的な英語教育カリキュラムを実施する。			
目標名/現状値	全国学力調査より「①英語の勉強は好きですか」「②英語の授業で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができましたか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合		小学校(6 年)①R2:61.8% ②R2:64.0% 中学校(3 年)①R2:56.2% ②R2:59.9%	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・年間小学校 1,2 年生で 10 時間程度、小学校3・4年生で35時間英語活動、小学校5・6年生で70時間英語を実施(ALT、わくわくインク [®] リッシュサポーターを配置)			
目標値		小学校(6 年) ①65.0②65.0 中学校(3 年) ①58.0②60.0	小学校(6 年) ①67.0②67.0 中学校(3 年) ①61.0②62.0	小学校(6 年) ①70.0②70.0 中学校(3 年) ①65.0②65.0
担当課	教育指導課			

事業名	問題発見能力や他者と協働するコミュニケーション能力の育成			
事業の概要	21世紀を生き抜く力として、授業において、日常の疑問を発見する力やコミュニケーション能力の育成を図るとともに、必要となる教職員の能力育成のための研修を強化する。			
目標名/現状値	生駒市教育研修会参加者数		0人	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・新型コロナウイルス感染症に伴い夏期休業中の研修を厳選したことにより開催せず	・教職員のファシリテーション能力の育成のための研修開催		
目標値	0人	300人	300人	300人
担当課	教育指導課			

事業名	市内教員(ミドルリーダー)向け先進校視察支援事業【新規】			
事業の概要	ミドルリーダー層以上の教員が自分自身の教育観や授業観のアップデートに充てる時間を確保するために、教育委員会事務局主導で先進校視察を行い、先進的な取組を市内の教育に取り入れるきっかけとする。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容			令和4年度	令和5年度
			・視察候補調査	・視察実施
目標値			—	—
担当課	教育指導課教育政策室			

事業名	講師不足対策【新規】			
事業の概要	定数内講師の不足の解消及び、今後予想される講師不足に関する施策を実施する。潜在的人材、積極的に講師を選択する人材など、多様なニーズに対応できるよう取組を進める。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容			令和4年度	令和5年度
			・講師相談会の実施。 ・いこま de 先生シェアハウスの準備	
目標値			—	—
担当課	教育指導課教育政策室			

<生涯学習>

基本方針 3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

1 すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出

〔現状と課題〕

すべての市民が各々のライフステージで楽しみながら学び、生涯学習で学んだことを地域で生かす仕組みづくりや、困難を抱える子ども、若者への支援の充実が引き続き必要となっています。また、社会の多様化が進む中、障がいの有無、年齢、性別、国籍などの多様性を認め合う取組についても継続的に行っていく必要があります。

〔具体的な事業・取組内容と目標〕

事業名	幅広い世代への学ぶ機会の提供と地域の人材活用			
事業の概要	「IKOMA サマーセミナー」など、様々な特技や専門知識等を持った市民自身が先生となって、市民への学びや体験の場を提供するとともに、市民が活躍する機会とする。 また、このような場づくりを市民が主体となって継続的に取り組み、さらに発展していけるよう支援することで、生駒の誇る「市民力」をさらに引き出し、市民の持つスキルやアイデアを活かしたまちづくりにつなげる。			
目標名/現状値	IKOMA サマーセミナー実行委員数		11人(令和元年度)	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・市民主体の実行委員会による開催・運営		 ・先生募集対象の拡大	
目標値	12人	12人	15人	15人
担当課	生涯学習課			

事業名	困難を抱える子ども・若者に対する支援の充実			
事業の概要	子ども・若者総合相談窓口「ユースネットいこま」を拠点として、様々な困難を抱える子ども・若者が自立した社会生活を送れるよう、「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」の有効活用及び関係機関との連携のもと必要な支援を行う。			
目標名/現状値	ユースネットいこまの相談者数		118人(令和元年度)	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・ユースネットいこまにおける相談支援 ・「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」の運営			
目標値	120人	120人	120人	120人
担当課	生涯学習課			

事業名	学びと活躍推進事業			
事業の概要	主に働き盛り世代の市民を対象に、学びを通してより豊かな生き方、暮らし方に向けた気づきやきっかけとなるよう、「ischool」を展開する。 「ischool」では、「ミライの教室」として市民や企業、大学など多様な主体による講座や、学びと交流の社会見学「まちミル」などを実施し、市民がさまざまな気づきを得て新たな行動につながるきっかけとする。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		・「オトナの社会見学」の実施	・学びと交流の社会見学「まちミル」の実施 ・学びのポータルサイトの運用 ・「ischool」の立ち上げ ・「ミライの教室」の実施	
目標値		—	—	—
担当課	生涯学習課			

事業名	多様性を認め合う場の提供			
事業の概要	年齢や性別、障がいの有無や国籍、文化など個々人の違いや多様性を認め合う学びや体験の機会を提供する。			
目標名/現状値	参加者数		58人(令和元年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・「ユニバーサルキャンプin生駒」の開催			
目標値	60人	60人	60人	60人
担当課	生涯学習課			

事業名	高齢者の学びへの意欲向上と、学びを「行動」につなげる仕組みづくり			
事業の概要	「いこま寿大学」の内容を充実させ、高齢者の学習意欲を引き出すとともに、学びの成果をまちづくりにつなげられる人材を発掘、育成する。 また、「寿生駒連絡協議会」(気らくネット)に代表される同大学の卒業生など有志の市民が地域や学校等と連携しながらまちづくりの担い手として活躍する機会を増やしていけるよう支援を行う。 さらに、高齢者が必要な知識や気づきを得て、より安心感をもって充実したセカンドライフを送れるようサポートする。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の取組内容	令和2年度 ・社会貢献活動への参加意欲を促す講習会の開設やクラブ学習課程の改善 ・高齢者のニーズや時代の流れを反映するカリキュラムや運営体制等の見直し ・気らくネットによる地域での社会貢献活動の支援	令和3年度 	令和4年度 	令和5年度  ・学習期間(2年または4年)の選択や再入学を可能とした新たな制度での運営  ・豊かなセカンドライフの実現に向けた市民啓発講座の開催
目標値	—	—	—	—
担当課	生涯学習課			

【再掲】

事業名	家庭・学校・地域が連携した家庭教育の支援			
事業の概要	子育ての不安解消や地域でのつながりづくりなどを目的に、地域で子育て支援等に関わる市民との協働により立ち上げた生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」を中心に、学校園などとの連携のもと親子や保護者を対象とした交流事業や家庭教育に関する情報発信などに取り組む。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の取組内容	令和2年度 ・家庭教育支援チーム「たけのこ」による取組の実施 ・取組の情報発信 ・チームメンバーの研修	令和3年度  ・学校園への訪問	令和4年度  ・個別相談の試行	令和5年度 
目標値	—	—	—	—
担当課	生涯学習課			

2 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり

[現状と課題]

図書館を、グループなどとの「協創」の場として、まちづくりの拠点とすることを目指した取組の充実を図るとともに、市民一人ひとりが誰でも本と身近に親しめる取組を進めていく必要があります。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	子ども読書活動の充実【変更】			
事業の概要	子ども読書活動における家庭・地域・学校の新しい連携づくり			
目標名/現状値	生駒子ども読書会議の開催回数		3回(令和3年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・家庭・地域・学校が連携し「トライ！生駒子ども読書会議」を開催		・「家読」推進を図る活動を参加者が各自実施し、会議で意見交換を行う。	・様々な立場の市民が集まり、子どもの読書環境について学ぶ機会として講演会を3回実施し、参加者で意見交換を行う。
目標値	3回	3回	3回	3回
担当課	図書館			

事業名	「人を通して人を知る」「本を通して人を知る」をキャッチフレーズとするビブリオバトル全国大会の開催			
事業の概要	図書館が本を通じて語り合う場になるとともに、年齢や地域の枠を超えた全国大会を開催する。			
目標名/現状値	ビブリオバトル全国大会の参加者数		283人(うち YouTube230人) (令和3年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・ビブリオバトル全国大会inいこまを開催			
目標値	304人	380人	380人	300人
担当課	図書館			

事業名	市民との連携や「協創」のもと、まちづくりの拠点となる図書館づくり			
事業の概要	市民との連携や「協創」のもと、人と本、人と人をつなぐ事業を行い、新たな文化を創造する「まちづくりのプラットフォーム」となる図書館を目指す。			
目標名/現状値	図書館事業協働ボランティア団体数		13団体(令和3年度)	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・市民との「協創」事業の開催、まちかど図書室活動の推進	・市民との「協創」事業の開催 ※移動図書館を導入等による「まちかど図書室事業」の充実	・市民との「協創」事業の開催、まちかど図書室活動の推進	
目標値	10団体	11団体	14団体	15団体
担当課	図書館			

事業名	図書館読書バリアフリー事業			
事業の概要	障がい、高齢等の理由により、図書館の利用に困難を感じている人が気軽に利用できる図書館を目指し、ボランティアとともに読書推進を行う。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・音訳ボランティア養成講座、音訳サービスの実施 ・宅配サービスの実施	 ・知的障がい者のための代読ボランティア養成講座	 ・館内整理日図書館解放事業において、代読等、知的障がい者に対するサービスを実施	
目標値	—	—	—	—
担当課	図書館			

事業名	図書館本館リニューアル事業【新規】			
事業の概要	図書館の利用形態が、貸出中心から滞在型へと大きく変わったことに対応するため、子どもや高齢者、障がい者も利用しやすく、誰もが行ってみたくなるような図書館となるよう、図書館本館のリニューアルを行う。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容				令和5年度
				・図書館利用者、 市民、関係団体 等によるワークシ ョップを開催
目標値				—
担当課	図書館			

3 歴史・伝統文化・芸術を通じた、より豊かなまちの実現

〔現状と課題〕

市内の豊かな歴史や伝統文化を活用し、市民が郷土愛を育むことができる取組を進めていく必要があります。また、市民が質の高い文化や芸術に触れる機会や、全国に誇る吹奏楽など、文化芸術活動への取組や成果を発表できる機会の充実を図っていく必要があります。

〔具体的な事業・取組内容と目標〕

事業名	『生駒市史』編さん事業			
事業の概要	『生駒市史』編さん事業は、昭和 60 年に最終巻を発刊し終えたが、その後 30 年間に行なわれた発掘調査や古文書調査等の新たな成果が蓄積されている。加えて、生駒市を取り巻く状況は大きく変化してきており、市制 50 周年を記念して新たな「生駒市史」を編さんする意義は大きい。優れた専門性を備えた市内在住研究者や学校関係者、ボランティアの参画により「生駒市史」の編さんを行う。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・編さん事業準備 会開催	・編さん委員会開 催 ・方針決定 ・補充調査 ・記念講演会	・編さん委員会開 催 ・補充調査 ・記念講演会 ・地域学習イベン ト ・ニューズレター発 行 ・史料集1発刊	 ・史料集編集
目標値	—	—	—	—
担当課	図書館			

事業名	市史編さん収集資料活用事業「いこま歴史アーカイブ」【新規】			
事業の概要	市史編さん作業で収集した資料のうち、書籍の基礎となる貴重かつ活用可能な資料を選択し、令和7年度以降『市史』を発刊公開して以降、史料を随時公開し、活用をはかる。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容			令和4年度	令和5年度
			・史料の収集・撮 影 ・編さん委員会で 意見聴取、活用 手法検討	・史料の収集・撮 影 ・執筆者と調整し 史料の選択 ・関連課調整
目標値			—	—
担当課	生涯学習課			

事業名	歴史・伝統文化の学びの場の提供と情報発信			
事業の概要	市内に存在する有形・無形文化財の保存・活用、伝統文化に親しむ機会の拡充や継承を進めるほか、生駒ふるさとミュージアム等を拠点とした郷土学習の場の提供や歴史文化の発信を行う。 あわせてデジタルミュージアムによる情報発信を行うことで、市民が容易に生駒の歴史や伝統文化に触れることができる環境を整備する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・市内小学校6年生への「茶道体験教室」の開催 ・ふるさとミュージアムにおける企画展等の開催 ・デジタルミュージアムの運営と周知 ・「鷹山家文書」等古文書活用事業の実施			・小学校児童を対象とした郷土の伝統文化（茶筌・茶道）学習の促進 ・市内の文化財を活用した講座等の実施
目標値	—	—	—	—
担当課	生涯学習課			

事業名	市民との「協創」による「音楽のまち生駒」の発信			
事業の概要	「市民みんなで創る音楽祭」など市民の企画提案によるコンサートの開催を通じて、市民が身近に様々なジャンルの音楽に親しめる機会を提供する。 また、吹奏楽を愛する市民により結成された「生駒市民吹奏楽団」の活動を支援するとともに、市内学校の吹奏楽部・バンド等との連携のもと、合同演奏会などの開催を通じてあらゆる世代の市民に吹奏楽や音楽の楽しさを提供・発信する。			
目標名/現状値	「市民みんなで創る音楽祭」提案団体数		11 団体（令和元年度）	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・「市民みんなで創る音楽祭」の開催 ・市民吹奏楽団の運営、事業開催			
目標値	12 団体	12団体	13団体	14団体
担当課	生涯学習課			

事業名	生涯学習施設整備事業			
事業の概要	誰もが安心・安全に利用できる施設にするため、老朽化が進んでいる市内生涯学習施設を適切に維持管理し、計画的に改修を進める。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・生駒市図書館エレベーター(図書専用)改修工事 ・北コミュニティセンタートイレ改修工事	・たけまるホール通路屋根防水改修工事	・北コミュニティセンターISTA はばたき空気調和機整備工事	・北コミュニティセンター空調設備更新工事設計 ・コミュニティセンター文化ホール調光操作卓改修 ・コミュニティセンターLED化改修 ・南コミュニティセンター噴水跡整備工事 ・南コミュニティセンター駐車場整備
目標値	—	—	—	—
担当課	スポーツ振興課			

4 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

[現状と課題]

市民誰もが個々のライフスタイル・ライフステージに応じて身近にスポーツを楽しむことができる環境づくりを地域のスポーツ団体等と連携して、引き続き進めていくとともに、地域スポーツの中心的存在として期待される総合型地域スポーツクラブの発展を支援していくことが求められています。

[具体的な事業・取組内容と目標]

事業名	第2期スポーツ推進計画策定事業【新規】			
事業の概要	本市スポーツ推進の基本的な方針を示す「生駒市スポーツ推進計画」が、令和5年度で計画期間が終了するため、次期計画となる「(仮称)第2期生駒市スポーツ推進計画」を策定する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の取組内容			令和4年度	令和5年度
			・スポーツに関する市民意識調査等の実施	・第2期スポーツ推進計画策定
目標値			—	—
担当課	スポーツ振興課			

事業名	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業			
事業の概要	誰もが身近な地域で気軽にスポーツ活動が行えるよう、市内の総合型地域スポーツクラブの発展を支援するとともに、新たなクラブの設立に向け、関係団体への情報提供や人材育成を行う。			
目標名/現状値	市内クラブの会員数		807 人	
各年度の取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・各クラブに対する活動支援 ・新規クラブ設立に向けた情報提供や人材育成		 ・新規クラブ設立準備支援	 ・新規クラブ設立
目標値	850人	900人	950人	1,000人
担当課	スポーツ振興課			

事業名	みんなのスポーツ推進事業			
事業の概要	子どもから高齢者、障がい者などあらゆる市民が、スポーツに親しみ、楽しむ機会の充実を図る。			
目標名/現状値	みんなのスポーツ推進事業の開催		5回/年	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・いこまスポーツの日の開催(1回) ・障がい者対象スポーツ事業の開催(4回) ・障がい児用運動プログラムモデル事業の実施		・車いすバスケット体験会の実施 ※企業版ふるさと納税を活用	  ・障がい者対象スポーツ事業の開催(5回) ・障がい児用運動プログラム事業の実施
目標値	5回	5回	5回	6回
担当課	スポーツ振興課			

事業名	トップアスリート連携事業			
事業の概要	スポーツに憧れや夢を抱けるように、メダリストやトップアスリートを招き、スポーツ教室や講演会を開催し、有名スポーツ選手と触れ合う機会をつくる。			
目標名/現状値	アスリート連携事業の実施		5回/年	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・スポーツ教室や講演会の実施			
目標値	5回	5回	5回	5回
担当課	スポーツ振興課			

事業名	体育施設整備事業			
事業の概要	子どもから高齢者、障がい者まで誰もが安心・安全に利用できる施設とするため、トイレの洋式化を進める。また、老朽化が進んでいる市内体育施設を適切に維持管理し、利用者の安心と安全を確保する。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	・市内体育施設非構造部材耐震点検及び照明器具LED化等設計 ・総合公園体育館及び市民体育館空調設備設置工事	・イモ山公園プール管理棟耐震診断 ・市民体育館非構造部材改修工事	・イモ山公園プールトイレ洋式化等改修設計工事 ・市民体育館トイレ洋式化等改修設計 ・武道館トイレ洋式化等改修設計工事 ・総合公園体育館非構造部材及び照明器具LED化改修工事	・総合公園体育館トイレ洋式化等改修 ・井出山体育館：非構造部材・照明LED化・トイレ洋式化等改修 ・生駒北スポーツセンター駐車場整備
目標値	—	—	—	—
担当課	スポーツ振興課			

事業名	新たな地域クラブ推進事業【新規】			
事業の概要	将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するため、新たな地域クラブ活動推進協議会を設置し、コーディネーターを配置するとともに、新たな地域クラブの活動支援等を行う。			
目標名/現状値	—		—	
各年度の 取組内容				令和5年度
				・推進協議会の設置や運営 ・コーディネーターの配置 ・新たな地域クラブの活動支援
目標値				—
担当課	スポーツ振興課			

第2次生駒市教育大綱 アクションプラン<令和5年度>
生駒市教育委員会 教育こども部 教育指導課教育政策室
〒630-0288 奈良県生駒市東新町 8 番 38 号
電話:0743-74-1111(代表) FAX:0743-74-9100
<https://www.city.ikoma.lg.jp/>